

9 - 2 九州の地震活動(2001年5月～2001年10月) Seismic Activity in Kyushu (May, 2001-October, 2001)

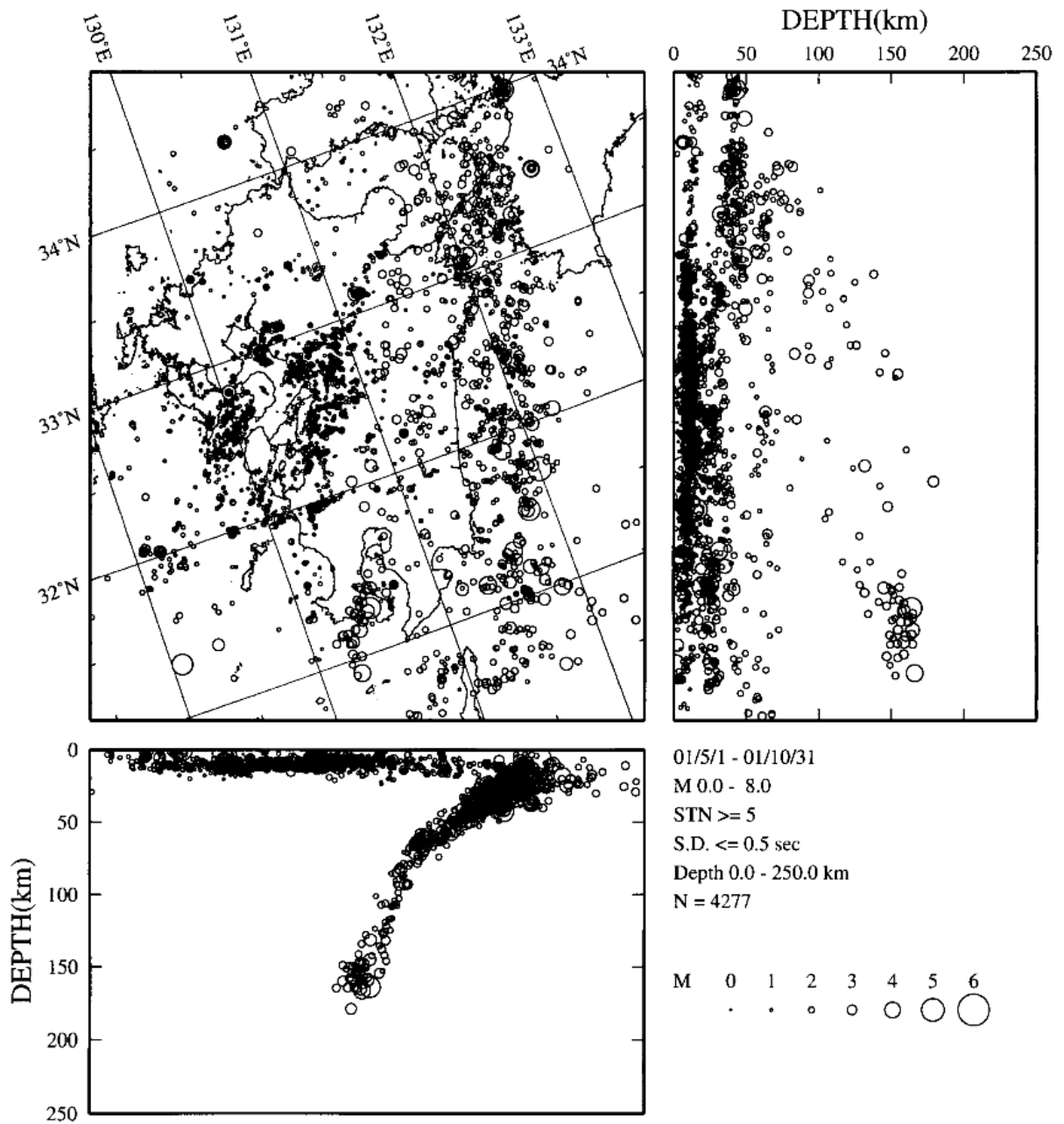
九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター
Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

第1図に2001年5月～2001年10月の震源分布,第2図に同期間の月別震央分布と主な地震の発震機構を示す。また,第3図には深さ30km以浅の地震の分布を示す。

九州中部においては,久住火山付近での地震活動が活発であった。第2図に示すように,地震の発震機構解は南北張力である。1999年10月31日より始まった熊本県中部の日奈久断層での地震活動は,以前に比べると活動度は落ちてきているものの,依然として活発である。諫早市付近において,6/6にM3.7の地震が発生し,その余震活動が6月下旬頃まで続いた。1998年12月の群発地震活動の時に比べ,震源域の深さは10km付近と深い位置での活動であった(1998年の活動では2km～5kmの深さ)。

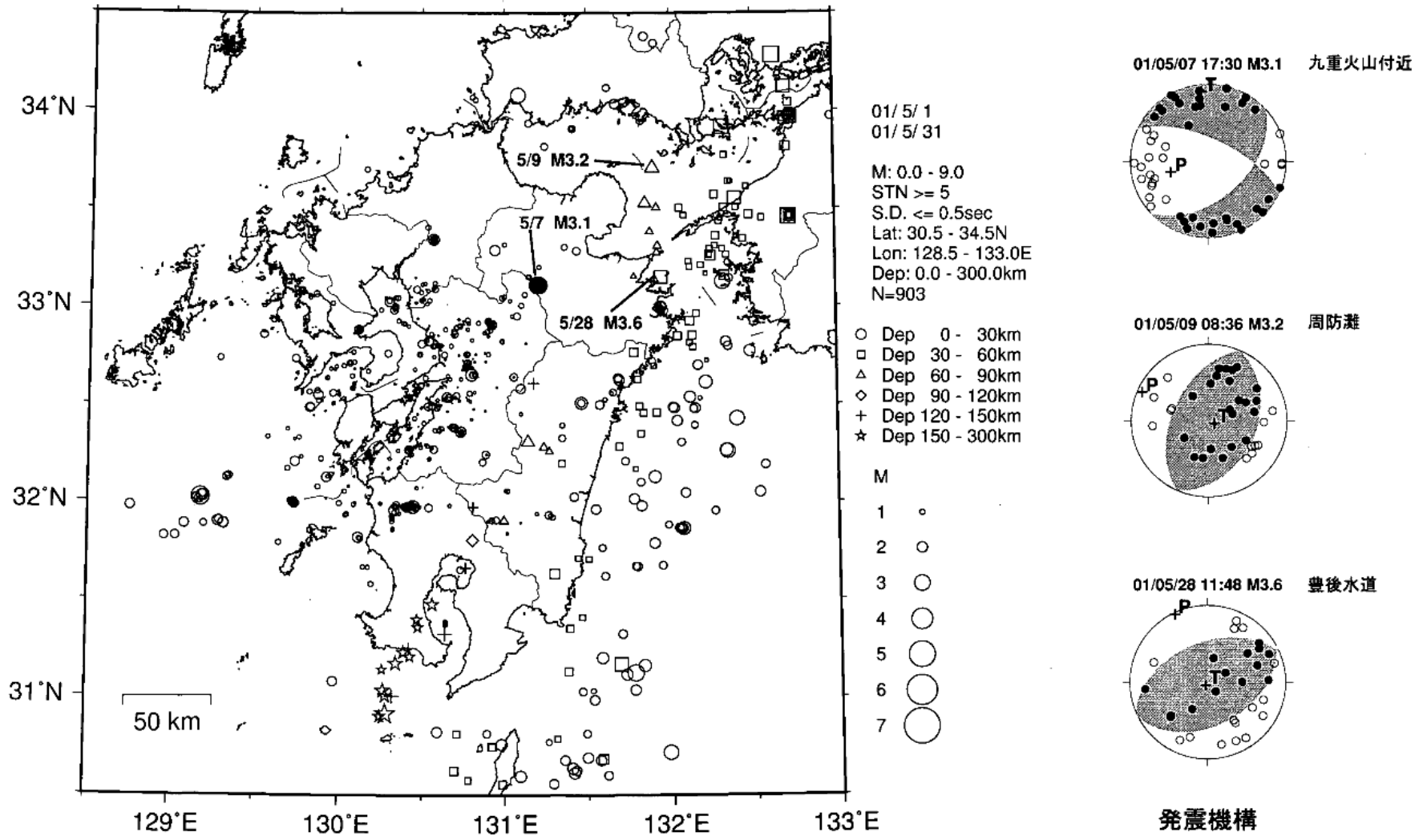
日向灘においては,M4,M5クラスの地震がいくつか発生した。このうち,8/30 M4.9・9/17 M5.1の発震機構解は低角逆断層型であり,フィリピン海プレートとユーラシアプレートとのプレート間地震であると思われる。

尚,本報告は気象庁・防災科学技術研究所・鹿児島大学・高知大学・東京大学・九州大学のデータをもとに作成された。



第1図 震源分布(2001年5月~2001年10月)

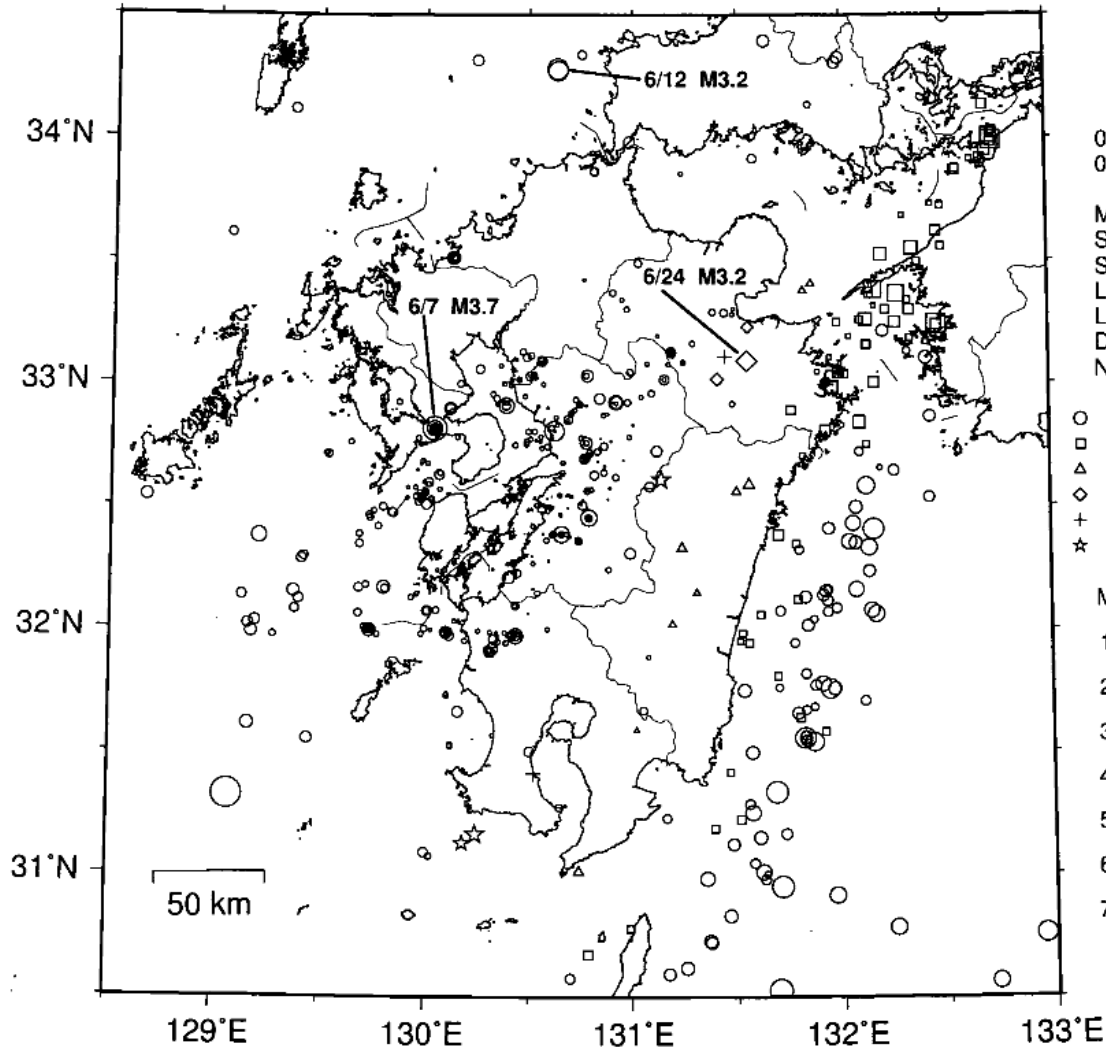
Fig.1 Hypocentral distribution (May 2001-October 2001)



月別震央分布 (2001年5月)

第2図-(1) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(1) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms



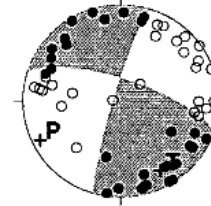
月別震央分布 (2001年6月)

01/6/1
01/6/30
M: 0.0 - 9.0
STN >= 5
S.D. <= 0.5sec
Lat: 30.5 - 34.5N
Lon: 128.5 - 133.0E
Dep: 0.0 - 300.0km
N=670

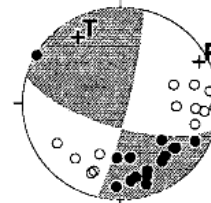
○ Dep 0 - 30km
□ Dep 30 - 60km
△ Dep 60 - 90km
◇ Dep 90 - 120km
+ Dep 120 - 150km
☆ Dep 150 - 300km

M
1 ○
2 ○
3 ○
4 ○
5 ○
6 ○
7 ○

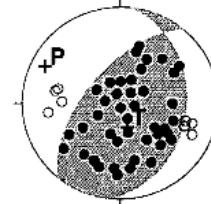
01/06/07 18:20 M3.7 長崎県諫早市



01/06/12 06:08 M3.2 響灘



01/06/24 06:36 M3.2 大分県中部

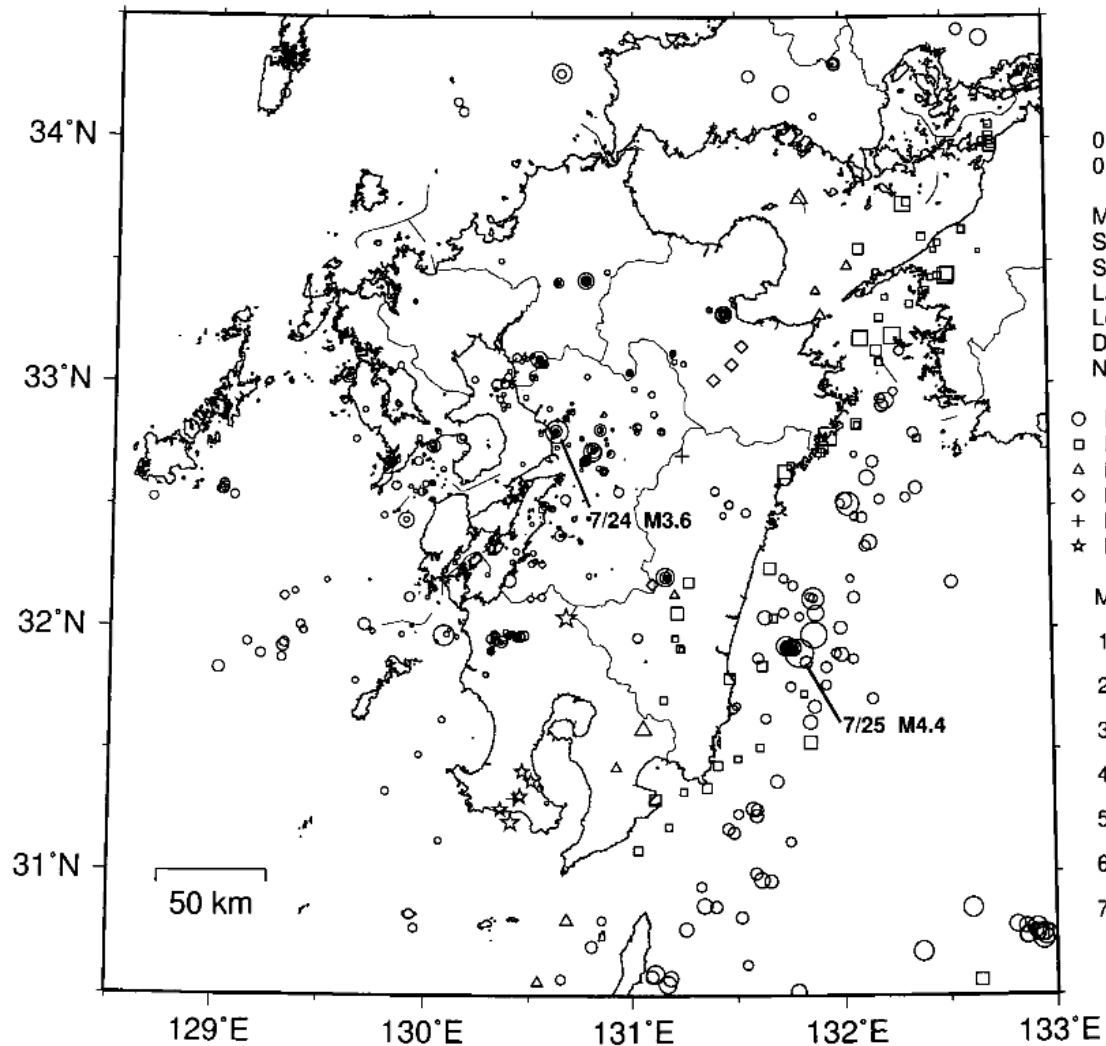


発震機構

(下半球等積投影, 黒丸が押し, 白丸が引き)

第2図-(2) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(2) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms



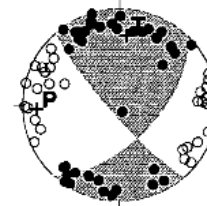
月別震央分布 (2001年7月)

01/7/1
01/7/31
M: 0.0 - 9.0
STN >= 5
S.D. <= 0.5sec
Lat: 30.5 - 34.5N
Lon: 128.5 - 133.0E
Dep: 0.0 - 300.0km
N=637

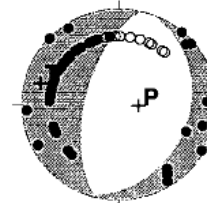
○ Dep 0 - 30km
□ Dep 30 - 60km
△ Dep 60 - 90km
◇ Dep 90 - 120km
+ Dep 120 - 150km
★ Dep 150 - 300km

M
1 ○
2 ○
3 ○
4 ○
5 ○
6 ○
7 ○

01/07/24 08:31 M3.6 熊本市付近



01/07/25 05:10 M4.4 日向灘

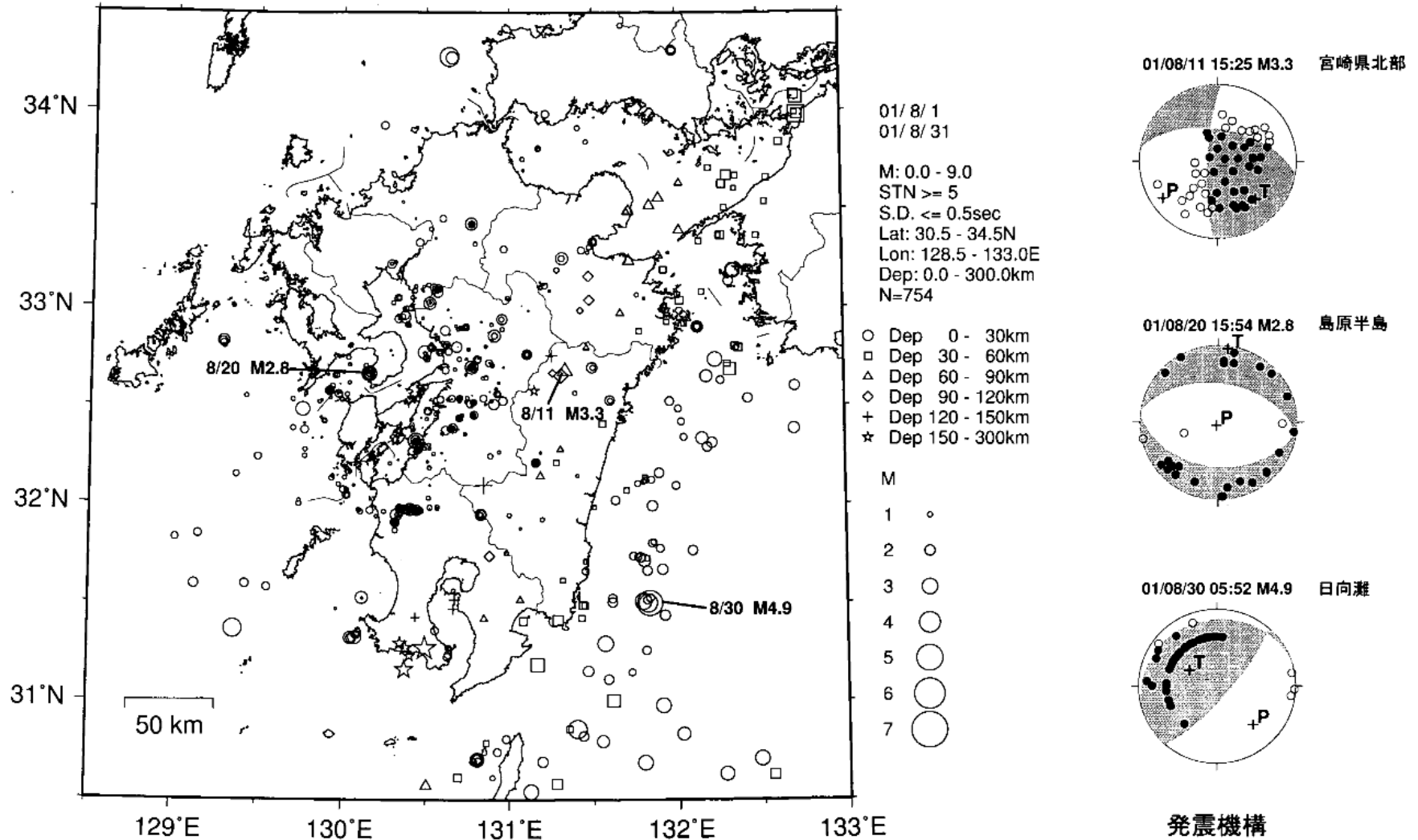


発震機構

(下半球等積投影, 黒丸が押し, 白丸が引き)

第2図-(3) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(3) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms

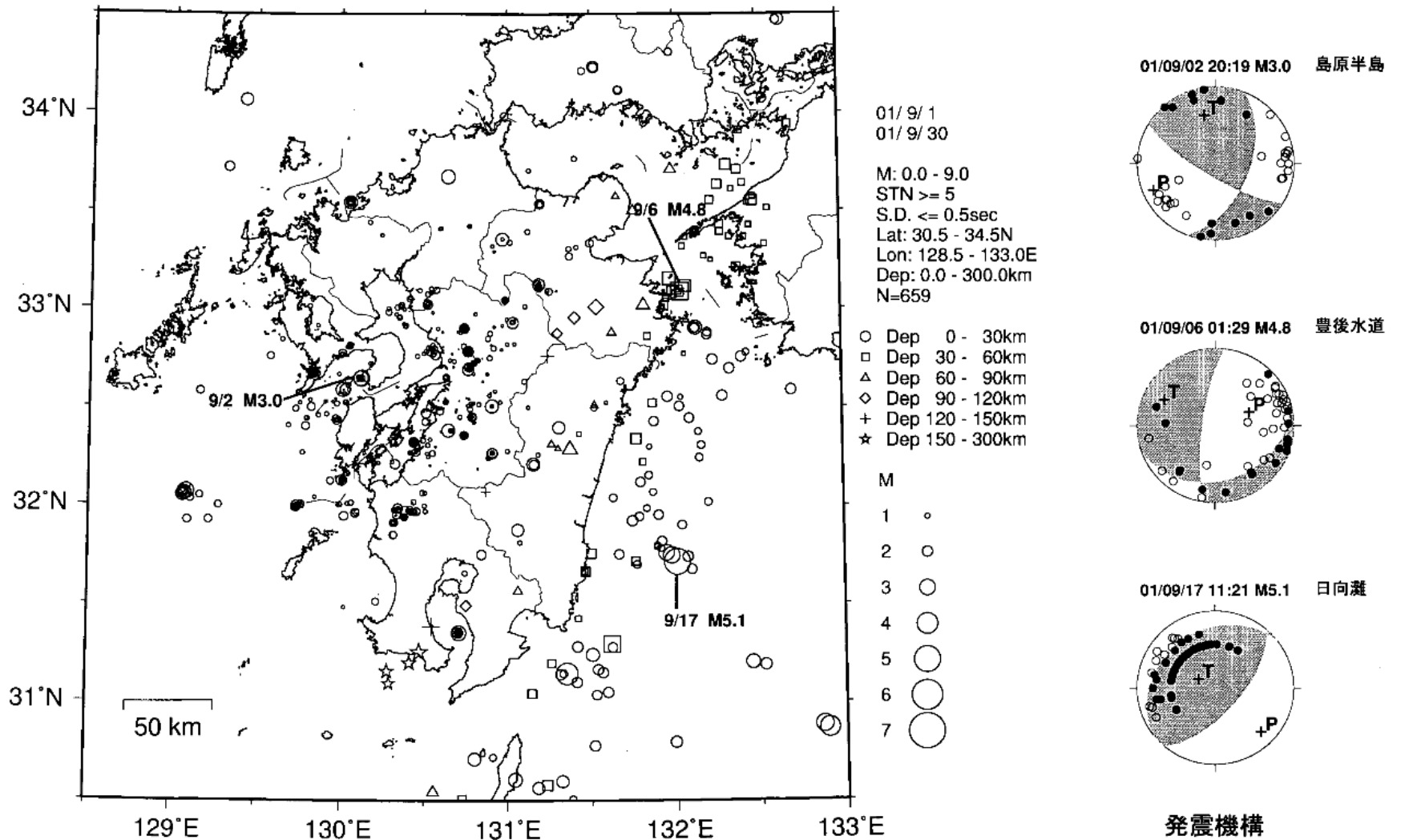


月別震央分布 (2001年8月)

(下半球等積投影, 黒丸が押し, 白丸が引き)

第2図-(4) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(4) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms

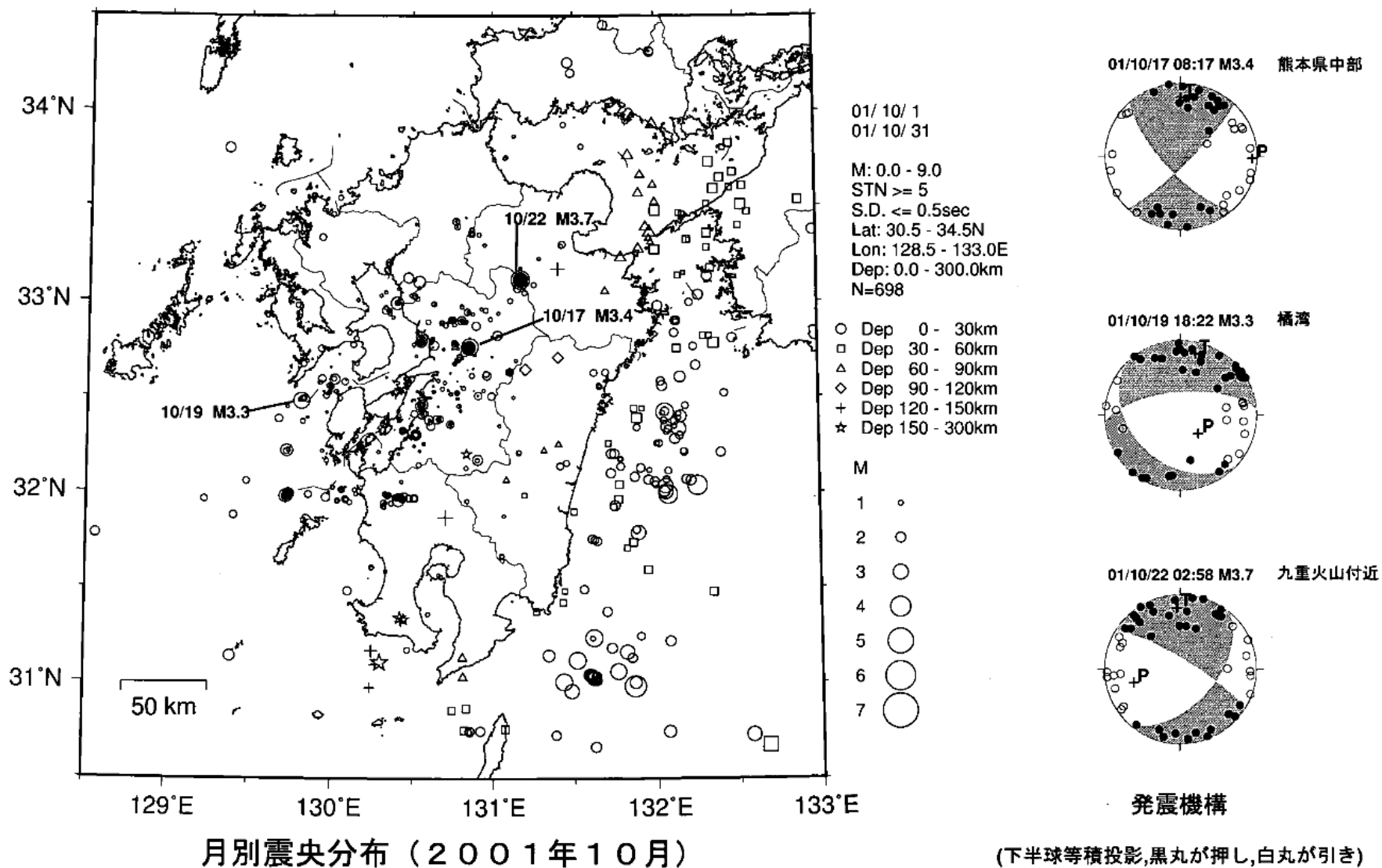


月別震央分布 (2001年9月)

(下半球等積投影, 黒丸が押し, 白丸が引き)

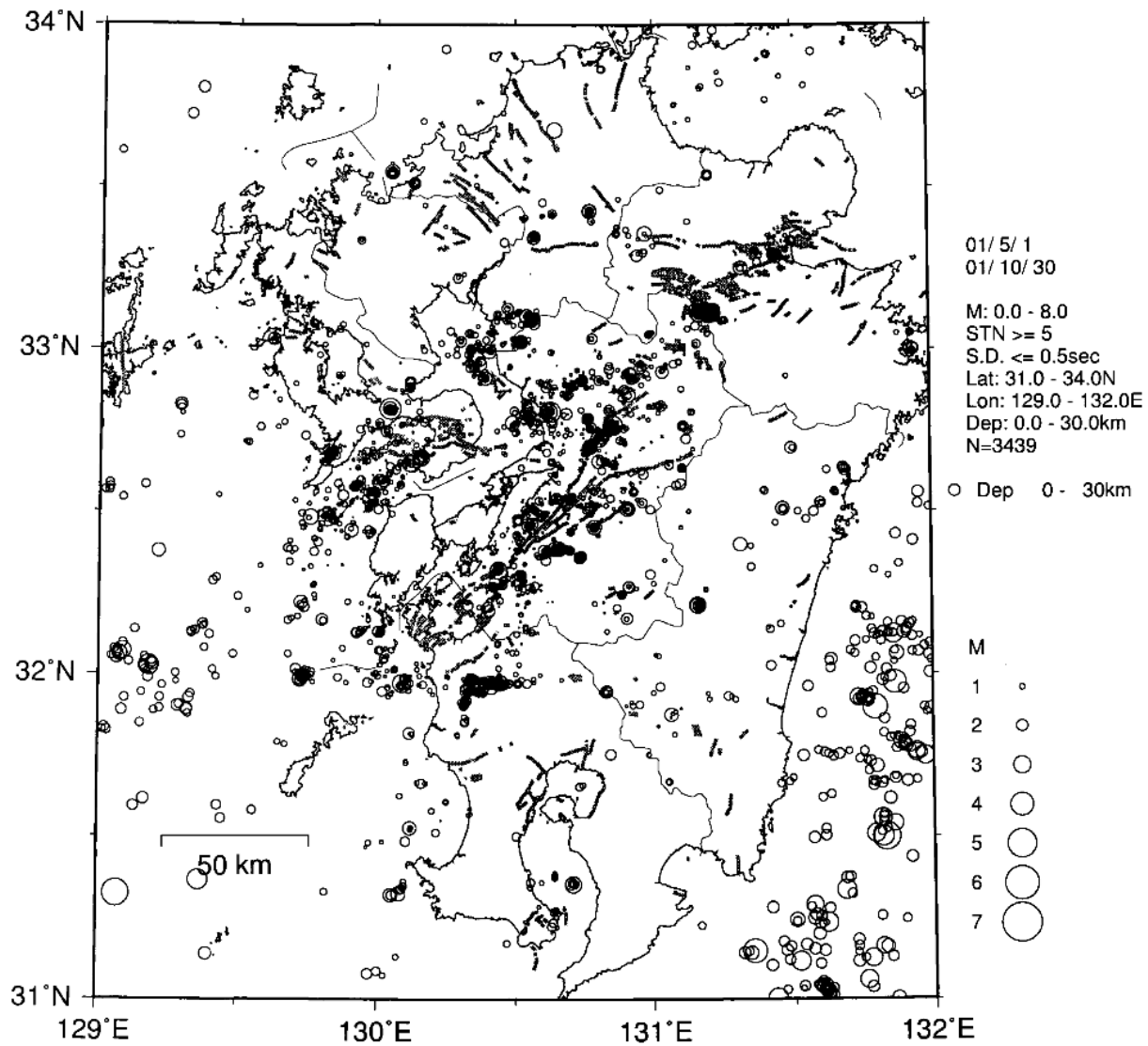
第2図-(5) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(5) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms



第2図-(6) 月別震央分布と発震機構

Fig.2-(6) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms



第3図 深さ30km以浅の地震分布と活断層分布(活断層研究会, 1980)

Fig.3 Epicentral distribution of shallow earthquakes (depth \leq 30km). Distribution of active faults are also shown (The Research Group for Active Faults, 1980)